

【主担当部局：地域連携部国体・全国障害者スポーツ大会局】

県民の皆さんとめざす姿（令和5年度末での到達目標）

令和3（2021）年の三重とこわか国体で天皇杯・皇后杯を獲得するとともに、その後も安定的な競技力を維持しスポーツの魅力を発信し続けることで、本県選手の活躍をとおして、県民の皆さんが夢、感動、勇気を得るとともに、郷土を愛する意識や一体感が醸成されています。

スポーツ施設の整備により競技環境が向上することで、競技スポーツを通じた人づくりが進んでいます。また、一般利用者も快適に施設を利用できるようになっています。

主指標						
目標項目	令和元年度	2年度		3年度	4年度	5年度
	現状値	目標値 実績値	目標達成 状況	目標値 実績値	目標値 実績値	目標値 実績値
国民体育大会 の男女総合成 績						10位台
	14位					
目標項目の説明と令和2年度目標値の考え方						
目標項目 の説明	国民体育大会における正式競技の参加点（ブロック大会を含む）と冬季大会および本大会の競技得点の合計による都道府県ごとの男女総合順位					
2年度目標値 の考え方						

副指標						
目標項目	令和元年度	2年度		3年度	4年度	5年度
	現状値	目標値 実績値	目標達成 状況	目標値 実績値	目標値 実績値	目標値 実績値
全国大会の入賞 数						150
	162					
とこわか運動 （県民運動）の 取組数（累計）						1,000取組
	130取組 （30年度）					
県営スポーツ施 設年間利用者数						1,065,200人
	1,181,289人 （30年度）					

現状と課題

- ①平成 25（2013）年に三重県競技力向上対策本部を立ち上げ、計画的に競技力向上対策を進めてきたところ、令和元（2019）年の第 74 回国民体育大会（いきいき茨城ゆめ国体）では、天皇杯順位（男女総合成績）は 14 位、皇后杯順位（女子総合成績）は 20 位まで順位を上げることができました。
- ②令和 3（2021）年の三重とこわか国体での天皇杯・皇后杯獲得に向けて、さらに競技力の向上を図るとともに、三重とこわか国体での本県選手の活躍や地域の盛り上がり、その後の安定的な競技力の維持や、スポーツを通じた人づくりに生かされるよう、取組を進めていく必要があります。
- ③平成 30（2018）年のインターハイ開催の成果を生かすとともに、スポーツの楽しさや躍動感を共有する「応援村 O U E N—M U R A」の取組をはじめ、東京 2020 オリンピック・パラリンピック開催の気運を三重とこわか国体・三重とこわか大会につなげる必要があります。
- ④三重県では 46 年ぶりの開催となる国内最大のスポーツの祭典である国民体育大会「三重とこわか国体」と三重県では初めての開催となる全国障害者スポーツ大会「三重とこわか大会」の成功に向けて、市町や競技団体等と連携しながら、県民力を結集した大会となるよう、オール三重で着実に準備を進めていく必要があります。
- ⑤三重とこわか国体・三重とこわか大会の開催に向けて必要なスポーツ施設の整備と、大会後においても引き続き必要となる施設の受入れ環境を向上させる必要があります。

令和 2 年度 of 取組方向

- ①三重とこわか国体の開催がいよいよ翌年に迫る中、三重とこわか国体での天皇杯・皇后杯獲得を確実なものとするため、鹿児島国体で目標とする男女総合成績 10 位以内の獲得をめざすとともに、各競技団体の現状に即した効果的な強化対策に着実に取り組みます。
- ②三重とこわか国体における少年種別の選手の多くが高校生となり、選手の顔ぶれが明らかになってくることから、これらの選手やチームに的を絞った育成・強化を図ります。また、トップアスリートの県内定着を進め、本県のチーム・選手団を完成させるとともに、競技用具や練習環境の整備など確実に勝てる体制づくりを進めます。
- ③三重とこわか国体の後も継続して三重県の競技スポーツを担う人材育成につなげるため、「チームみえ・コーチアカデミーセンター」の取組を進め、指導者の資質向上を図るとともに、指導体制の確保に取り組みます。
- ④三重とこわか国体・三重とこわか大会の開催がいよいよ翌年に迫る中、両大会の成功に向け、会場地市町や競技団体等と緊密に連携するとともに、簡素・効率化を図りつつ、創意工夫を凝らした両大会となるよう、県民の皆さんと共にオール三重で開催準備に取り組んでいきます。
- ⑤三重とこわか国体・三重とこわか大会を県民力を結集した大会とするため、とこわか運動（県民運動）の取組が県内全域で行われるよう、市町や競技団体と連携し、学校や企業などあらゆる主体に幅広く働きかけていくとともに、運営ボランティア、情報支援ボランティア等の養成を行います。
- ⑥三重とこわか国体・三重とこわか大会に向けて、県営スポーツ施設での競技が円滑に運営できるよう、必要な整備・改修を行います。あわせて多くの県民の皆さんに快適な利用環境を提供できるよう、より一層のサービス向上に努めます。

主な事業

① 競技力向上対策事業【基本事業名：24101 競技力の向上】

予算額：(R1) 691,522千円 → (R2) 842,886千円

事業概要：令和2年度の目標である男女総合成績10位以内を獲得するため、大会での活躍が期待できるジュニア・少年選手の強化、トップアスリートの県内定着やその環境整備など、各競技団体の現状に即した効果的な強化対策に着実に取り組み、三重とこわか国体での天皇杯・皇后杯獲得を確実なものとしていきます。また、三重とこわか国体後も安定的な競技力を維持するため、平成30年度から開始した「チームみえ・コーチアカデミーセンター」の取組を進め、指導者の資質向上と指導体制の構築を図ります。

② 三重とこわか国体・三重とこわか大会開催準備事業

【基本事業名：24102 三重とこわか国体・三重とこわか大会の開催】

予算額：(R1) 813,662千円 → (R2) 1,820,236千円

事業概要：市町や競技団体等と連携し、三重とこわか国体・三重とこわか大会の開催準備を着実に進めます。広報では、イメージソングやダンスを活用し、節目の時期に開催機運の醸成に向けたイベントを実施するなど、これまで以上に広報活動を展開します。また、多くの方に両大会を支援していただきたいため、とこわか運動（県民運動）の取組促進や募金・企業協賛の取組を進めます。あわせて、三重県らしさを盛り込んだ開・閉会式の式典に向けて検討を重ねるとともに、選手や監督等が万全の態勢で競技に臨めるよう、市町におけるリハーサル大会や施設整備への支援、宿泊施設の確保や輸送・交通対策に取り組めます。さらに、両大会をスムーズに運営できるよう、競技役員や各種ボランティアを養成します。

③（新）三重とこわか大会プレイベント開催事業

【基本事業名：24102 三重とこわか国体・三重とこわか大会の開催】

予算額：(R1) — 千円 → (R2) 4,320千円

事業概要：三重とこわか大会から新しく正式競技となるポッチャの交流大会を開催します。また、三重とこわか大会において、誰もが楽しめる環境を整備するため、この交流大会を利用し、ICTの利活用に向けた実証実験を行います。

④ 三重交通G スポーツの杜 鈴鹿事業【基本事業名：24103 スポーツ施設の充実】

予算額：(R1) 466,709千円 → (R2) 748,278千円

事業概要：指定管理者制度に基づいて、利用者のニーズに応じた効率的・効果的な管理運営を行うとともに、三重とこわか国体・三重とこわか大会に向けた施設の改修等を行います。

⑤ 三重交通G スポーツの杜 伊勢事業【基本事業名：24103 スポーツ施設の充実】

予算額：(R1) 75,837千円 → (R2) 156,656千円

事業概要：指定管理者制度に基づいて、利用者のニーズに応じた効率的・効果的な管理運営を行うとともに、三重とこわか国体・三重とこわか大会に向けた施設の改修等を行います。

県営松阪野球場事業【基本事業名：24103 スポーツ施設の充実】

予算額：(R1) 21,122千円 (R2) 235,368千円

事業概要：指定管理者制度に基づいて、利用者のニーズに応じた効率的・効果的な管理運営を行うとともに、三重とこわか国体に向けた施設の改修等を行います。

県営ライフル射撃場事業【基本事業名：24103 スポーツ施設の充実】

予算額：(R1) 17,402千円 (R2) 42,325千円

事業概要：指定管理者制度に基づいて、利用者のニーズに応じた効率的・効果的な管理運営を行うとともに、三重とこわか国体に向けた施設の改修等を行います。